

古事類苑

人部十三

動作

人ノ起居動靜ニ關スル事ヲ收載シテ、名ケテ動作篇トス、而シテ拜揖、跪、蹲、平伏、膝行等ノ事、禮式部敬禮篇ニ載セ、舞、踊ノ事ハ樂舞部ニ、水練ノ事ハ武技部ニ、各其篇ヲ設ケタレバ、宜シク參照スベシ、

名稱

〔類聚名義抄カ〕舉動 フルマヒ

〔書言字考節用集九〕周旋 舉動 舉止 行迹

〔遊仙窟〕自然能舉止 動也、止息也、住也、

〔倭訓栞前編二十六〕ふるまひ 遊仙窟に舉止、日本紀に進止をよめり、振舞の義也、よて文選に翺

翔をよみ、或は翔字をもよめり、設字は韻書に考へ得ず、

〔貞丈雜記言語十五〕一ふるまひと云は、振舞とも舉動とも書也、人の身のふりまはしを云也、然るに客

人などに食物を食はするを、ふるまひと云はあやまり也、

〔日本書紀十三〕四十二年○九十二月、大泊瀬皇子○雄 欲聘瑞齒別天皇正 反之女等女名不 於是皇

女等對曰、君王恒暴強也、○中 若威儀言語如毫毛、不似王意、豈爲親乎、

〔日本書紀十二〕豐御食炊屋姫天皇○推古、姿色端麗、進止軌制、

〔源氏物語二〕木二もとのねざしいやじからぬが、やすらかに身をもてなし、ふるまひたる、いとかは